

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念をふまえ入居者、管理者、職員共に明るく笑顔の絶えないを念頭に、会話や環境作り心掛けています。日々の申し送り職員間の情報共有し個々のコミュニケーション役立てています。	ホーム開設時に職員で話し合い事業所独自の理念としてつくりあげ、事業所内に理念を掲示し、日々理念を意識して業務に取り組んでいます。	事業所や個人としての年度目標も設定し、振り返る機会を設けられることを期待します。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルス感染防止に伴い地域行事が中止されていたが、R5年度の春より行事がだんだんと開催されるようになってきた為、今後参加を予定している。	今年度は新型コロナウイルスの影響で自粛していますが、障害事業所のご利用者との交流の機会を持ったり、地域の方から野菜をもらったり、例年であれば地域の夏祭りや防災訓練に参加したりと地域との良好な関係が作られています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	新型コロナウイルスの影響で地域のイベント等が中止となりの交流が難しかった。避難訓練時には近隣の方々に訓練の様子を見学していただくように声掛けを行った。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご利用者家族、地域の方、民生児童委員、包括支援センター職員、市役所介護福祉課職員の参加をいただき地域の情報や意見交換を行い日々の支援に生かしている。	新型コロナウイルスの影響で書面での開催もありますが、2ヶ月に1度、市の担当者、包括支援センターの職員、区長、民生委員等に参加していただき、事業所からの報告に加え、参加者からの要望や意見を改善やサービスの向上の取組みに活かされています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議などで情報交換やメールによる情報の提供を受け、共通認識のもと課題に取り組んでいる。	事業所の2ヶ月に1度の運営推進会議には市の職員の参加してもらっているほか、ご利用者の対応に関する相談などを通し、サービスの質の向上に向けた相談や意見交換が行われています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	安全確保のため夜間の施錠は行っているが、3ヶ月に1回身体拘束廃止委員会が開催され、情報交換等を行い法人全体で取り組んでいる。	事業所では独自のマニュアルを作成しており、ご利用者のカンファレンスで話し合うことで身体拘束に対する職員の意思統一が図られています。	調査時点で令和4年度からの身体拘束廃止委員会の開催や身体拘束に関する研修会の実施に関する資料が確認できませんでした。定期的開催されるように改善されることを期待します。
7	(5-2)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	研修資料を利用して職員会議で内部研修を行い虐待防止についての知識を深め、自身のケアを振り返る機会を作り、利用者の立場での介護に努めている。	日常的に詳細な記録を残し、職員会議にて検討する機会を持つなどし、虐待防止に対する職員の意思統一が図られています。	調査時点で令和4年度からの虐待防止に関する研修会の実施に関する資料が確認できませんでした。定期的開催されるように改善されることを期待します。
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を活用しているご利用者が居り、職員会議で情報を共有・周知し協同して支援に行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分な説明に努めているとともに随時の変更の際にも文章とともに口頭での説明で理解を求めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者・家族には毎月おたよりを届け、生活の様子を伝えている。また、投書箱を設置し要望等の収集に努めている。	意見箱が玄関に設置されているほか、日常的にご家族が意見や要望を言いやすい雰囲気作りを行い、直接言ってもらえる関係が作られています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	法人本部、他事業所との意見交換を定期的に行っている。毎月職員会議を開催し、情報共有・意見交換を行っている。	月に1度職員会議を行い、職員の意見や提案を聞く機会が設けられています。加えて管理者が日常的に職員から話を聞くよう配慮されています。	ヒヤリハット報告書及び事故報告書の様式を事業所の組織体制に合わせた様式に見直されることを期待します。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	タイムカードによる労働時間の管理を行うとともに、相談しやすい環境に努力している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	R4年度3名、認知症介護基礎研修を行っている。職員会議時に内部研修を実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・コロナの為、地域密着方サービスの会議は中止されている。緩和される中で、研修や勉強会が始まると思います。外部研修の参加職員間での内部研修は行ってきた。職員会議や情報共有に努めている。		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・サービスを利用に際し、今までの様子をご本人や家族からの聞き取り、サービス事業所・医療機関等関係者の意見情報を収集検討している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・ご本人の望むことやご家族の困り事心配事等の状況を共有しともに考えて支援に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・入居前には、事前に施設の取り組みや実際の様子を見て頂いたりしている。入居後の本人の心身ともに変化には職員間や家族の協力、支援を共有し穏やかに生活できるよう支援している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・毎日の生活(介護・支援)の中で、介護されるだけでなく、生活の中での会話等でご利用者からの暖かい言葉をかけていただく場面もあり。日々の生活を大切にして支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	(7-2)	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・ご家族との絆が途絶えないようにご本人の様子を月1回発信している。ご本人の様子の変化や願い事に対し真摯に受け止め家族・職員等共有し支えていけるよう努めている。	ご家族には事業所広報をお送りしたり、事業所でのご利用者の状況をまとめたお手紙をお送りしています。ご家族との連絡を密にし、ご家族の相談にも対応することで、信頼関係を構築し、ご家族と事業所それぞれの役割を分担し、共にご利用者を支える関係が築かれています。	
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・家族や大切にしてきた人との関係を維持できるように支援している。入居間もない方の様子は、職員が気づきを職員と家族で共有している。コロナが落ち着きホームの出入りも緩和されている。	新型コロナウイルスの影響で制限もありますが馴染みの関係を継続できるよう、ご家族にも協力して頂き定期的に自宅に出かけ髪の毛をカットするご利用者もいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・住居環境(居間・食事の場)が狭い利用者同士の関わりも多くなっている。全職員は、様子を伺いながら気づき、その場で声をかけ・椅子の配置等を工夫しながら穏やかな生活を送れるよう心掛けている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・事例は少ない・本人からはないが、退居後も家族からのお話を伺ったり、関係機関とのつながりや相談等の支援に努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・入居前より情報収集、面接、入居についての会議にて入居決定。入居後の生活の変化に職員間での気づき、ご家族と連絡共有し、本人本位の介護に努めている。	日々のケアにおけるコミュニケーションや行動から得た情報を記録し、定期的に見直しも担当者により行われており、情報の蓄積と職員間で共有が行われています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24	(9-2)	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・ご家族・関係機関からの状況把握とご本人の思いを日々の関わりの中でサービス利用の経過等の把握に努めている。	思いや意向の把握同様、日々のケアにおいてのコミュニケーションや行動から得た情報を記録し、情報の蓄積と職員間で共有が行われています。	契約時からアセスメントが行われていない方もいましたので、介護計画の見直しと合わせてアセスメントを行われることを期待します。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・一日の生活の中で、健康状態等の状況の記録、余暇活動の記録・申送りや会議で検討、職員全員が状況把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・ご家族との相談、関係機関との情報共有、担当職員と他職員・ケア会議や定期的なモニタリング又は状況の変化(気づき)に随時見直しを図っている。	ご利用者・ご家族の要望を踏まえたケアプランを作成し、3ヶ月ごとに担当者がモニタリングを実施し、プランの修正・決定が行われています。	調査時点で介護計画の作成や同意が遅くなっている方やサービス担当者会議を開催していない方もいましたので、今後改善されることを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・1日の様子を個別のファイルに記録。業務日誌に特記事項等記載し夜勤・日勤への申し送りを行っている。また、全職員にも伝えるように経過を出勤してから必ず目を通し既読サインをし周知徹底している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・ご本人ご家族・関係機関と連携し状況によって柔軟な支援・介護やサービス、必要な支援ができる様に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・田畑のある山間の穏やかな地域にある施設です。車の往来も少なく天気の良い日は散歩や日向ぼっこしたりゆったりとした環境にあります。地域の協力もあり(声掛けや見守りも暖かい)		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・入居前からの主治医の変更もなく対応している為経過や通院もスムーズに行われている。	ご利用者・ご家族の希望するかかりつけ医での受診が行われています。定期受診は基本的に職員が同行していますが、ご家族が同行している方もいます。医療機関への情報提供も行われています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・週に2回、看護師が来られます。職員からの状態報告や本人のお話を聞いて頂いたり、入浴時ご利用者の状態観察と必要な処置の指示、主治医との通院時の(必要な状態報告)等、連携に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・日々の介護に(本人の訴えに聞き取り)、定期受診や体調の変化に気づく、診察時に状態報告を適切に行っている。通院ノートに記入し以前からの経過もわかるように記載し共有している。病院関係者との連携に役立てている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・施設の構造状、重度や終末期の介護が難しい施設です。契約時には、終末期までは難しい事の説明をさせて頂いています。関係機関との連携をし、次の施設が見つかるまでは誠意をもって対応しております。	中間施設であるというターミナルケアに対する事業所としての方針と対応を明確にし、契約時に説明し、納得してした上で利用が開始されています。	
34	(12-2)	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・緊急時には、緊急連絡網・マニュアルに沿って対応している。救急対応の講習会は、コロナの為2年行ってない。その為、職員会議時には、対応の話を日々話し合っている。急変時(夜間)にはスムーズな対応が行えている。(通院ノート含)	救急対応の講習会はコロナの為最近では実施されておりませんが、職員には急変や事故発生に関するマニュアルに沿って対応してもらっています。	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・コロナの為、地域の連携した訓練は出来ていない。施設独自で訓練を行い、会議では、対応について話あっている。入居者・職員全員参加の訓練も実施している。	火災や水害を想定した避難訓練を定期的実施しています。また、例年では地域の防災訓練にも参加しており、地域との防災に関する連携も図られています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	守秘義務、プライバシー保護に関し契約時同意書を双方で取り交わし対応している。	契約時にはご家族から使用する情報の内容について確認し、個人情報の利用に関する同意書を頂いています。また、新入職員研修において基本的な指導を行うとともに、写真の掲載など、個々の個人情報の取扱いや羞恥心に配慮した対応など、周知徹底が図られています。	重要事項説明書の説明日が記入されていない方もいましたので、今後記入モレの無いように改善されることを期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々のコミュニケーションを通じ、ご利用者の話を傾聴する中でご本人の希望や願いを伺い、思いに応えられるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者の話を傾聴し、散歩や塗り絵、静養を希望される時はご本人の希望に沿えるよう務めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴準備時、ご本人に着たい服を選んでもらい、その人の好みやこだわりを配慮し、自己決定が出来るよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	行事等でご利用者と一緒に食事を作ったり(ぼた餅や、あんみつ等)、誕生日はリクエストを伺いメニュー作りに参加してもらい、食事を楽しんで頂ける様努めている。	畑から収穫したものや差し入れなどの旬の食材を取り入れ、簡単な調理や準備をご利用者と職員が共に行い、大家族のような食卓で支援が行われています。また、ご利用者により食事を楽しんでいただけるよう、ご利用者の希望に合わせてメニューを提供しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の体重変化や体調に応じて、ごはん・おかずの量を調整し対応している。厨房会議で定期的に食事メニューの見直しを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケア時、職員が必ず見守りで行っている。義歯使用者や、一部介助が必要なご利用者には、その都度声掛けや確認をして、ご本人と一緒にしている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	尿便意が不鮮明なご利用者に対しては随時声掛け、誘導を行って対応している。下着等の交換時はご本人が出来る事は行ってもらい、必要時介助をして対応している。	必要に応じて排泄チェックを行い、排泄パターンや仕草を職員間で共有し、トイレ誘導が行われています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食時、乳製品の回数を増やした。日中は水分摂取や適度な運動(体操など)を行い、必要時は医療機関へ相談し薬の調整を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	季節の行事で入浴剤を使用したり(冬至のゆず湯)、入浴時ご本人に聞き、好みに合わせ対応している(ぬる湯など)	一人ひとりの体調や希望に応じて柔軟な対応がとられています。また、入浴拒否に対しては、無理強いをせず、タイミングや声かけの方法を職員で連携して対応がとられています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の温度設定を調整し環境を整えたり、ご本人が希望される時は居室で静養をとってもらい対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診後の処方薬の確認を行っている。薬の説明書を個人ファイル綴り、処方内容や副作用などをいつでも確認できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	軽作業を通して個々で役割分担し(たたみ物、洗濯物干し、シーツ交換)その作業に張り合いをもって取り組んでいる。縫物や編み物、塗り絵希望時は、本人が安全にできるよう見守りながら行っている。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は庭のベンチへ出ておやつや水分摂取を楽しめるよう対応している。希望時は、職員付き添いにて周辺へ散歩へ出かけている。春～秋は少し遠くまでドライブをして対応している。	天候に合わせた日常的な散歩に加え、季節に合わせたお花見や個別の外出支援で洋服の買い物に出かけるご利用者もいます。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金の預かりは行っていないが、ご本人が希望する物や必要な物品はご家族へも相談し、ご本人と一緒に買い物へ行き購入をしている。(代金立替、利用料と一緒に請求)		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人が希望される時は、電話をする等して対応している。ご家族へも事前に了解を得てから行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	定期的に折り紙等で季節にちなんだ作品を作り掲示している。作品は写真に残し、お便りに掲載している。畑に咲いている花と一緒に生け、季節を感じられるようにしている。	民家を改修してあるため、非常に家庭的で生活感が溢れる居心地のよい空間になっています。エレベーターも設置されており、足の不自由なご利用者への対応もされています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	座席については狭い中で苦慮しながら移動・移乗の安全面へ配慮している。利用者様からの希望がある時は話を傾聴し、席を変えたりして対応している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人に聞きながら、希望に沿った配置や物品(ペットの写真や、仏壇、贈り物)を置けるよう対応している。	使い慣れた物を持ち込んでもらうよう働きかけ、写真や思い出の品が置かれ、居心地よく過ごせる工夫が行われています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	センサーマットを活用し出入口の見守りが出来るようにしている。居間の椅子をひじ掛けタイプの物に変え、立ち上がりし易い様対応する等その都度対応している。		

**V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				